

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	にじいろ		
○保護者評価実施期間	R7年1月16日		~ R7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	R7年1月16日		~ R'年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者同士の交流できる機会を作っている。	土曜開所日に親子で参加してもらい、保護者同士でお話ができるような時間を作ったり、茶話会を実施したりしている。	今年度初めて就学後の保護者のお話を聞ける機会を作ったが、好評だったので来年度も実施したい。
2	普段の様子の共有はリズムを通して充実できるようにしている。必要に応じて対面での面談を通して行っている。	その日の子どもの様子だけではなく、色々な悩みや感じていることもリズムを通して、丁寧にやり取りすることで相談に応じている。リズムの記載がない保護者に対しては、書いていただけるように声かけや電話での連絡をしている。	引き続き、リズムや対面でのやり取りをしながら、保護者の方が困ったり、悩んだりした時に「にじいろに相談しよう」と思っていただけるように丁寧に対応していきたい。
3	園との連携を丁寧にすることで、情報の共有をしている。	送迎時や定期的な園面談を通して、子どもの様子を共有して、統一した支援が出来るように心掛けている。	必要に応じて併行通所先との情報共有が出来ている利用児もいるが、来ていない利用児もいるので、今後は併行通所先とも定期的な連携を取るようになっていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフによって支援の仕方や専門性に差がある。	経験の差がどうしてもあるが、基本的な療育での知識も少ない状況なので伝えているが、捉え方に違いがあり、なかなか伝わらない。	日々個々で振り返りをして、スタッフ全員で情報の共有や支援に対する改善点を話し合い、統一した関わりを出来るようにしている段階である。
2	地域との関わりが少ない。	地域や周りの園との交流は出来ていない。園との交流はなかなか難しい。	公園遊びなどで地域の公園に行った際は、その場にいる子供達と関わる機会を持てることもあるので、そういう機会を増やしていきたい。
3			